

第8回 宗教、国家と沖ノ島

令和2年1月18日(土) 13:30-16:30

むなかた

「神道史上における沖ノ島の祭祀」

梶山 林継 (すぎやま しげつぐ)

國學院大學名誉教授。専門は祭祀考古学、神道学。考古学から古代の祭祀を復元する祭祀考古学の立場から、沖ノ島を考える。著作に『原始・古代日本の祭祀』(共著)、『近世神道神学の萌芽』。

「国家形成から見た沖ノ島」

ウェルナー・シュタインハウス (Werner Steinhaus)

広島大学客員准教授。専門は考古学。古代ヨーロッパと日本の比較研究の中で、国家形成史における沖ノ島の位置付けを考える。主な著作は An Illustrated Companion to Japanese Archaeology (Comparative and Global Perspectives on Japanese Archaeology), Archaeopress (共著)。

第9回 宗像の信仰と人々の関わり

2月15日(土) 13:30-16:30

むなかた

「宗像の島々：小呂島、沖ノ島、大島の歴史と地誌」

服部 英雄 (はっとり ひでお)

九州大学名誉教授、くまもと文学・歴史館館長。専門は日本中世史。「あるき・み・きく歴史学」を実践する立場から、沖ノ島、大島の歴史と地誌を辿る。主な著作は『河原ノ者・非人・秀吉』、『蒙古襲来』、『蒙古襲来と神風 中世の対外戦争の真実』。

「宗像大社の無形民俗文化財」

森 弘子 (もりひろこ)

学校法人筑紫女学園理事。専門は宗教史・民俗学・文化財学。祭祀・信仰にまつわる無形の文化を自然との関わりから探求する。主な著作に『宝満山歴史散歩』、『宝満山の環境歴史学的研究』。

第10回 神話と建築にみる宗像信仰

3月14日(土) 13:30-16:30

むなかた

「古代の宗像氏と宗像神」

亀井 輝一郎 (かめい きいちろう)

福岡教育大学名誉教授。専門は日本古代史。『古事記』『日本書紀』に現れる胸肩(宗像)氏と宗像神を中心に、平安期までの他の古代史料を援用しつつ、宗像神をめぐる在地と王権にアプローチを試みる。主な著作に『宗像市史 通史編第2巻』(共著)、『津屋崎町史 通史編』(共著)。

「近世宗像郡の寺社建築と宗像社」

山野 善郎 (やまの よしろう)

(有)建築史塾 Archist 代表取締役。専門は建築史学。寺社建築の細部意匠を通して近世地域社会と宗像神社の関係を考察。主な著作に『神社』(単著)、『日本建築史基礎資料集成一 社殿』(共著)。

世界遺産

「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群

公開講座

「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群

の世界的な価値を明らかにするため、平成二十二年度から二十四年度にかけて、考古学、歴史学、民俗学、文化人類学などの各分野から多角的な調査研究が行われました。その研究成果にもとづき、本遺産群は平成二十九年七月にユネスコ世界遺産に登録されました。

本公開講座では、これらの調査研究に携わった専門家自身により、本遺産群に関する研究成果を最新の知見と合わせて紹介することで、本遺産群のもつ多様な価値を広く伝えます。

主催：「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群保存活用協議会



日時：令和元(2019)年7月から令和2年3月まで全10回

会場：海の道むなかた館 講義室 (〒811-3504 福岡県宗像市深田 588 番地 / TEL: 0940-62-2600)
カメラホール 大研修室 (〒811-3304 福岡県福津市津屋崎 1-7-2 / TEL: 0940-52-3321)

定員：各回 80 名 (要事前申込)

受講料：無料

申込み：HP の応募フォーム (<https://www.okinoshima-heritage.jp/courses/form>) にて要事前申込。各回とも開催日の 10 日前までにお申し込み下さい。定員を超えた場合は抽選を行います。当選者には開講日の 1 週間前までにメールでお知らせします。

問合せ：「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群保存活用協議会 (事務局：福岡県世界遺産室)
〒812-8577 福岡市博多区東公園 7-7
TEL: 092-643-3162 FAX: 092-643-3163 E-mail: sekaiisan@pref.fukuoka.lg.jp



↑応募フォーム

*平成22~24年度の調査研究の成果は、「宗像・沖ノ島と関連遺産群」研究報告として下記のHPで公開されています。

<https://www.okinoshima-heritage.jp/reports/index/2>

表紙の図面は、宗像神社復興明成会編(1958・1961)『沖ノ島』『続沖ノ島』所収の「玉類1」(四号遺跡・滑石製子持勾玉)、「滑石製舟形」(辺津宮附近出土の滑石製舟形)、「勾玉実測図2(十九号遺跡)」,「滑石製人形(男子)実測図」。



令和元年度文化庁文化芸術振興費補助金
(地域文化財総合活用推進事業)

令和元年度 公開講座スケジュール (全10回)

第1回 沖ノ島発掘調査の意義 令和元年 7月15日 (祝) 10:30-12:00 

「沖ノ島祭祀遺跡の調査と成果」

小田 富士雄 (おだ ふじお)

福岡大学名誉教授。専門は考古学、九州を代表する考古学者。1954年から1971年の3次の沖ノ島祭祀遺跡の学術調査に関わる。主な著作に『古代を考える 沖ノ島と古代祭祀』(編著)、『伽耶と古代東アジア』。

第2回 沖ノ島が語る日本古代の祭祀 7月15日 (祝) 14:00-15:30 

「宗像・沖ノ島祭祀の実像ー古代の祭式からみた沖ノ島祭祀遺跡ー」

笹生 衛 (さそう まもる)

國學院大學教授。専門は考古学、日本宗教史。自然環境の特別な働きに神を感じる古代の神観念から古代日本の祭祀の実像に迫る。主な著作に『日本古代の祭祀考古学』、『神と死者の考古学: 古代のまつりと信仰』。

第3回 宗像氏と対外交流 9月7日 (土) 13:30-16:30 

「古代宗像の渡来人」

亀田 修一 (かめだしゅういち)

岡山理科大学教授。専門は考古学。出土遺物や遺構・儀礼などから渡来人の痕跡を読み解き、古代の宗像における対外交流を解明。主な著作に『考古資料大観 第3巻 弥生・古墳時代 土器Ⅲ』(編著)、『日韓古代瓦の研究』。

「文献史料から見た古代豪族宗像氏の交流」

森 公章 (もり きみゆき)

東洋大学教授。専門は歴史学。古代東アジア諸国間の交流において沖ノ島祭祀の時期の交流が持つ意味を考える。主な著作に『天智天皇』、『古代日中関係の展開』。

第4回 沖ノ島祭祀以前 9月21日 (土) 13:30-16:30 

「沖ノ島祭祀の成立前史」

武末 純一 (たけすえ じゅんいち)

福岡大学教授。専門は考古学。玄界灘における海村のネットワークから、沖ノ島で古代祭祀が始まる前の弥生時代の宗像の社会を描く。主な著作に『土器から見た日韓交渉』、『弥生の村』。

「沖ノ島出土銅矛と青銅器祭祀」

柳田 康雄 (やなぎだ やすお)

國學院大學客員教授、元福岡県文化財保護課長、元九州歴史資料館副館長。専門は考古学。精緻な観察に基づく北部九州弥生時代の膨大な青銅器研究の成果から、弥生時代における沖ノ島の祭祀を考える。主な著作に『九州弥生文化の研究』、『伊都国を掘る』。

 海の道むなかた館 (宗像市)  カメリアホール (福津市)

第5回 カミマツリと沖ノ島 10月26日 (土) 13:30-16:30 

「石材から見る沖ノ島の石製祭具」

篠原 祐一 (しのはら ゆういち)

栃木県埋蔵文化財センター調査課長、延喜式内大前神社禰宜。専門は祭祀考古学。勾玉など奉献された石製品の分析から古代祭祀のあり方を具体的に復元する。主な著作に『季刊考古学 96号 古墳時代の祭り』(編著)、「重恵器大甕祭祀」、「重圀文字持勾玉攷」。

「文献からみた古代王権・国家のカミマツリと神への捧げ物」

西宮 秀紀 (にしみや ひでき)

愛知教育大学名誉教授。専門は歴史学(古代史)。宗像に関わる文献の詳細な検討から沖ノ島で行われた祭祀と古代国家の関係を探る。主な著作に『律令国家と神祇祭祀制度の研究』、『伊勢神宮と斎宮』。

第6回 古代日本の祭祀と宗像 11月16日 (土) 13:30-16:30 

「日本民俗学(伝承分析学・*traditionology*: the study of traditions) からみる沖ノ島」

新谷 尚紀 (しんたに たかのり)

国立歴史民俗博物館・国立総合研究大学院大学名誉教授。國學院大學大学院客員教授。専門は民俗伝承学。民俗・歴史・考古の学際的研究から沖ノ島祭祀の日本文化における意義を考える。主な著作に『伊勢神宮と出雲大社ー「日本」と「天皇」の誕生』、『伊勢神宮と三種の神器ー古代日本の祭祀と天皇』。

「古代神祇祭祀制度の中の宗像社」

加瀬 直弥 (かせ なおや)

國學院大學神道文化学部 神道文化学科准教授。専門は古代・中世神道史。古代神祇祭祀の形成過程における宗像社の位置付けから、沖ノ島祭祀を考える。主な著作に『平安時代の神社と神職』、『古代の神社と神職ー神をまつる人びと』。

第7回 ヤマト王権と沖ノ島 12月7日 (土) 13:30-16:30 

「ヤマト王権と沖ノ島祭祀」

白石 太一郎 (しらいたい一郎)

国立歴史民俗博物館・国立総合研究大学院大学名誉教授、大阪府立近つ飛鳥博物館名誉館長。専門は考古学。古墳時代研究の第一人者。国家形成から、ヤマト王権と沖ノ島祭祀の関係を考える。主な著作に『古墳とヤマト政権』、『考古学と古代史の間』。

「宗像地域における古墳時代首長の対外交渉と沖ノ島祭祀」

重藤 輝行 (しげふじてるゆき)

佐賀大学教授。専門は考古学。北部九州の古墳時代の詳細な研究に基づき、沖ノ島祭祀を担った宗像の首長像に迫る。主な著作に「装飾古墳の世界」、「佐賀平野の古墳時代社会と首長制」。